

11月の銅マーケットレポート及び12月の見通し (3)

橋本アルミ (株) 橋本健一郎



■概況

【自動車】

10月の四輪車生産台数は83万920台で、前年同月比プラス6.4%となり13か月連続で前年同月を上回った。輸出は、41万1277台で前年同月比マイナス2.9%。

販売については、11月の国内自動車販売台数(軽を除く)が25万8164台で前年比マイナス5.4%。2か月連続のマイナスになった。その内訳は、乗用車がマイナス5.5%、貨物がマイナス5%、バスがマイナス12.4%となっている。

【住宅】

平成29年10月の住宅着工戸数は、8万3057戸で前年同月比4.8%減となった。また、季節調整済年率換算値では93万3000戸(前月比2.0%減)となった。

住宅着工の動向については、前年同月比で4か月連続の減少となっており、利用関係別にみると、前年同月比で持家、貸家、分譲住宅ともに減となった。

引き続き、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

〈持家〉前年同月比では5か月連続の減少(前年同月比4.8%減、季節調整値の前月比では1.1%減)。

〈貸家〉前年同月比では5か月連続の減少(前年同月比4.8%減、季節調整値の前月比では5.5%減)。

〈分譲住宅〉前年同月比では2か月連続の減少(前年同月比4.8%減、季節調整値の前月比では2.0%減)。

分譲マンション：前年同月比では2か月連続の減少(前年同月比16.9%減)。

分譲一戸建住宅：前年同月比では先月の減少から再びの増加(前年同月比5.0%増)。

【伸銅品生産】

伸銅品生産は、前年比プラス7.5%の7万1379トン。2か月連続の増加。

内訳は、内需が5万9305トン、プラス6.9%で3か月ぶりプラス。輸出が1万2074トン、プラス10.5%で2か月連続のマイナス。銅条が2万3836トン、プラス9.8%で18か月連続のプラス。黄銅棒は1万6615トン、プラス3.8%で3か月ぶりプラス。

【電線】

前年比プラス10.1%の6万2800トン。うち、国内がプラス8.6%、輸出がプラス71.9%、通信がプラス7.5%、電力がマイナス8.1%、電気機械がプラス7%、自動車はプラス16.2%、建設電販がプラス11.1%、その他内が6.5%。

【輸出】

電気銅輸出がマイナス23.3%の3万4107トン。銅スクラップはプラス13.2%の2万7101トン。

【輸入】電気銅がプラス620%の1448トン。スクラップはマイナス15.6%の9767トン。

■見通し

自動車は生産がプラス6.4%。国内販売台数が前年比マイナス5.4%、生産が13か月連続のプラス、販売は2か月連続のマイナス。販売が2か月連続のマイナスだが、これが今後も続くのか注意が必要。住宅着工の動向については、前年同月比でマイナス4.8%と4か月連続のマイナス。下げ傾向かどうか、今後の動向に注目。

伸銅品は2か月連続の増加。前年比プラス7.5%。需要の多い銅条が、18か月連続のプラス。黄銅棒は3か月ぶりのプラス、輸出は2か月連続のプラス。黄銅棒のプラスが今後も続くかどうか注目。

電線は前年比プラス10.1%の6万2800トン。輸出が+71.9%。需要の多い自動車、建設電販がそれぞれプラス16.2%、プラス11.1%。全体として回復傾向にある。

銅輸出は、需用途から地金が減少。スクラップはメーカーの買い控え傾向から増加。

銅輸入は、内需用途から地金が増加。スクラップはメーカーの原料地金シフトから減少。

【スクラップ需給予想】

流通在庫は、伸銅品生産が回復傾向にあるが、未だスクラップとして市中に流通していないこと、また、流通しても引き続き発生量は少ないのではないかと見られる。

需要面に関しても、年末休業要因や住宅で4か月連続の減少。自動車が販売も2か月連続で減少していることや、引き続き人手不足問題からメーカーが地金を優先して使用していることからスクラップは余り気味なのではないかと見られる。

【価格・為替予想】

今月は、来年に向けての中国環境規制の動向や北朝鮮問題に左右される。

来年に向けての中国環境規制の動向に関しては、雑品の輸入禁止やPM2.5抑制のための生産禁止、抑制がさらに厳しくなるのは間違いないが、一方で建築に関しても規制が出るとの情報もある。

北朝鮮問題に関しては、中国の仲裁も空しく、再び北朝鮮がICBMを発射。これに対抗する形で米国が最大規模の軍事演習を行うなど解決の目途は立っていない。

これらを踏まえた12月の銅価格は、中国が環境規制や建築需要に向けての規制などを行わず、北朝鮮が追加的な軍事的アクションを起こさなかった場合、先月一段高値の6900ドルを予測。いずれかの場合場合は6800ドル。下値はいずれの条件も達成できなかった場合で先月安値の6700ドル。

為替は、上記材料から円安値は9月後半安値の114円～111円(TTM)台を予測。

銅建値に関しては790円～830円程度と予測している。

【11月の銅マーケットレポート及び12月の見通し終わり】